

■ 岐阜薬科大学内ネットワーク対応： ログインアカウントの切り替え設定手順 ■

(Microfost アカウント → ローカルアカウントへの切り替え設定手順)

岐阜薬科大学では、マイクロソフトと包括ライセンス契約を結ばれており、在学中は無料で Microsoft 365 を利用することができます。また、円滑に利用するために、Windows 11 Home でローカルアカウントを設定し、Windows 11 を利用することがおすすめです。以下のような手順が必要となります。

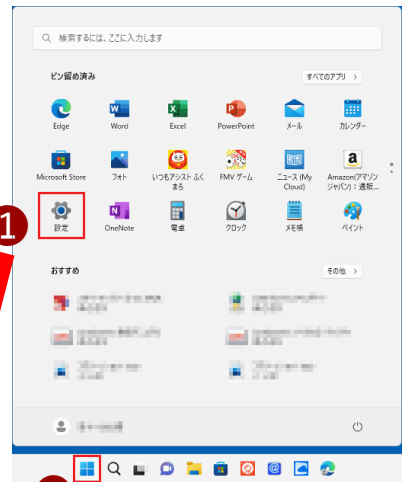
- 1) Windows OS の初期設定ウィザードで、サインインアカウントとして個人の Microsoft アカウントで一旦設定する
- 2) [設定] アプリの [他のユーザー] 画面でローカルアカウントを追加
- 3) 2) で、作成したローカルアカウントの種類を「管理者」に変更する
- 4) サインアウトし、作成したローカルアカウントでサインインし直す
- 5) [設定] アプリの [他のユーザー] 画面で、初期設定で利用した Microsoft アカウントを削除する

※ 具体的な設定作業画面は、次ページ以降を参照ください。

- 1) Windows 11 Home 初期セットアップは Microsoft アカウントでしか選択できません。
「Windows 11 Home」の初期セットアップには基本的にインターネット接続と「Microsoft アカウント」が必須で、ダイレクトに「ローカルアカウント」でセットアップすることはできません。
- 2) 岐阜薬科大学キャンパスでは、複数の Microsoft アカウントの利用には注意が必要です。
岐阜薬科大学では、マイクロソフトと包括ライセンス契約を結ばれており、在学中は無料で Microsoft 365 を利用することができます。利用には、入学後に提供される「学籍番号に基づいた ID = Microsoft アカウントと初期パスワード」を使用します。**学生個人が利用する Microsoft アカウントと「入れ子」にならないように運用しないと、岐阜薬科大学が契約している Microsoft 365 の利用に支障がたり、Windows 11 の動作に影響する恐れがあります。**
- 3) そのため、Windows 11 Home 初期設定ウィザードでは取りあえず個人用の Microsoft アカウントで初期設定しておき、その後ローカルアカウントを追加してから、初期設定に使用した Microsoft アカウントを削除する作業をおすすめしています。

1 [設定] アプリの [アカウント] 画面で ローカルアカウントを追加する

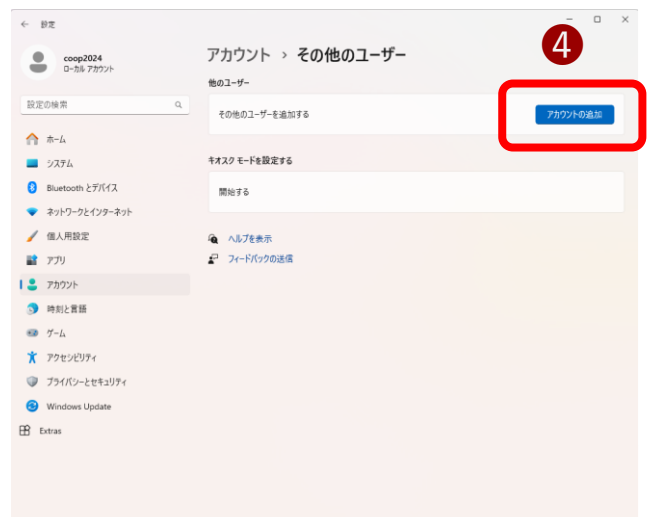
- Windows 11のデスクトップで、スタートメニューを開き
- ① [設定] アプリを起動します。



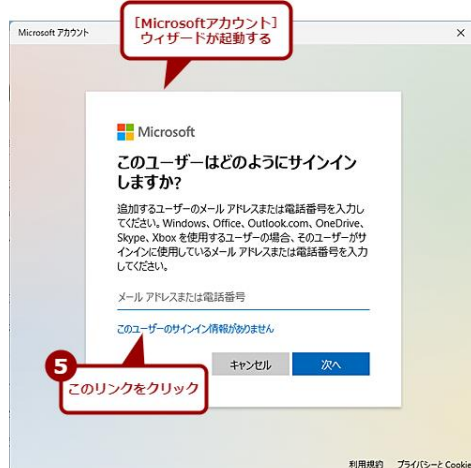
- ② 開いた設定アプリの左ペイン（左側メニュー）で [アカウント] を選択、
- ③ 開いた画面を少し下へスクロールし、右ペインで [他のユーザー] を選択します。



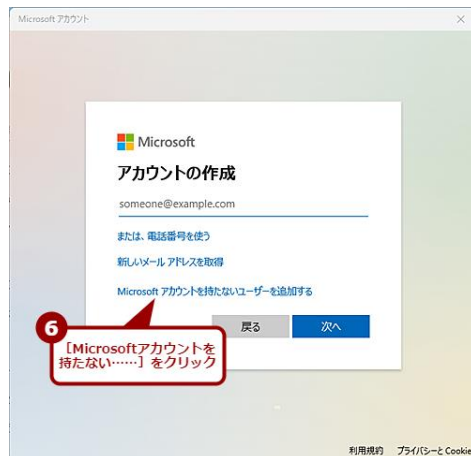
- ④ [他のユーザー] 画面の [アカウントの追加] ボタンをクリックします。



- ⑤ [Microsoftアカウント] ウィザードが開くので、[このユーザーのサインイン情報がありません] をクリックし、

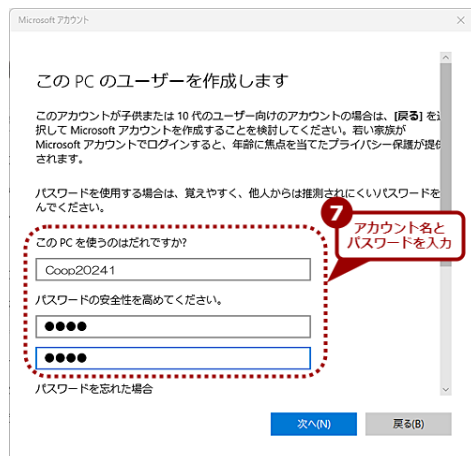


- ⑥ 「アカウントの作成」画面で [Microsoftアカウントを持たないユーザーを追加する] をクリックします。



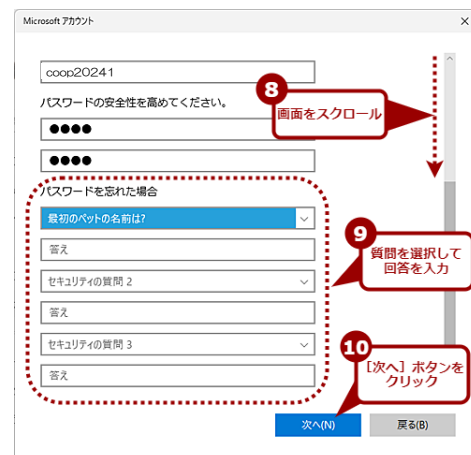
- ⑦ 「このPCのユーザーを作成します」画面で「ユーザー名」「パスワード」を入力します。

※ ユーザー名には、日本語を使用しません。Windows Update が不安定になるためです。



- ⑧⑨⑩ 「パスワードを忘れた場合」をそれぞれ入力する。

これで「ユーザー名」のローカルアカウントが作成できます。



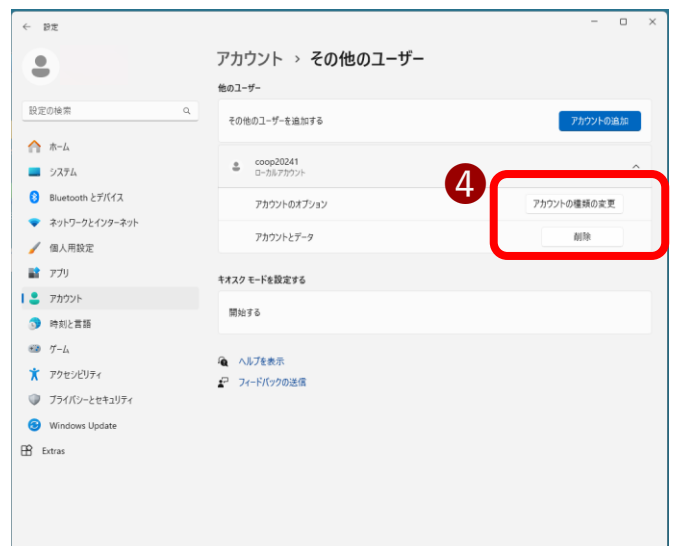
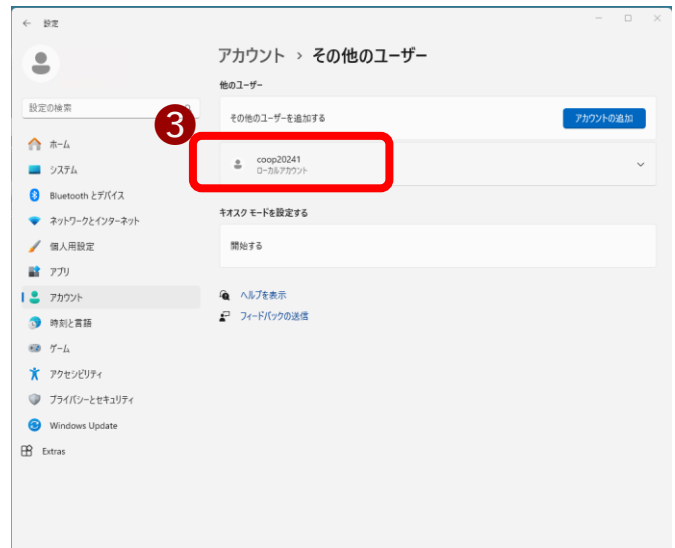
2 作成したアカウントの種類を「管理者」に変更する

① 設定アプリを開き、画面の左ペイン（左側メニュー）で [アカウント] を選択、

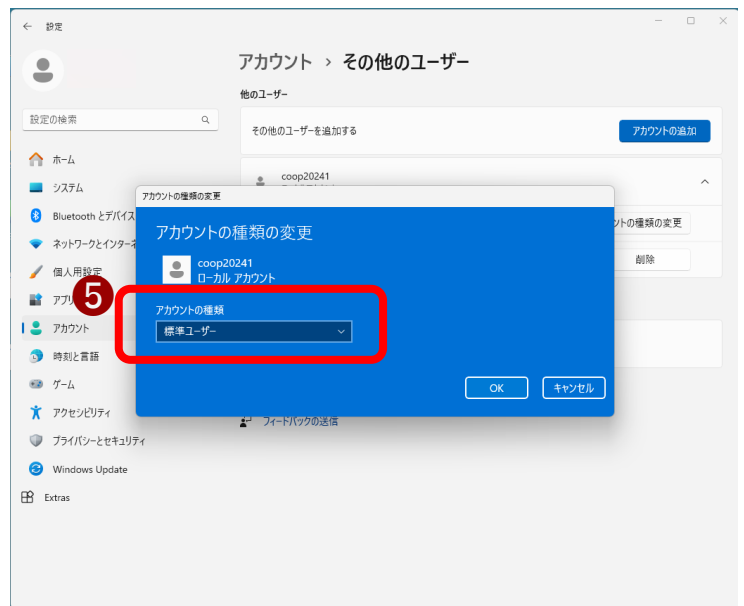
② 開いた画面を少し下へスクロールし、右ペインで [他のユーザー] を選択します。

③ 切替わった画面右ペインで追加設定したローカルアカウント（右例では coop20241）選択、クリックします。

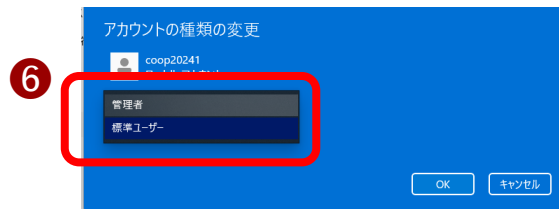
④ 表示されたメニューのアカウントのオプション項目の右「アカウントの種類の変更」をクリックします。



- ⑤ 表示された「アカウントの種類の変更」画面で、アカウントの種類項目をクリックします。



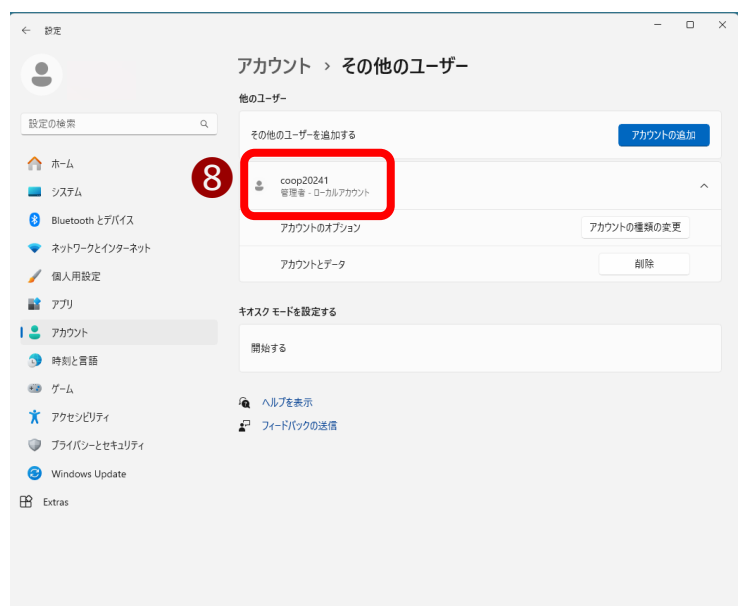
- ⑥ 表示された選択肢から「管理者」を選択し



- ⑦ 右下の「OK」ボタンをクリックします。

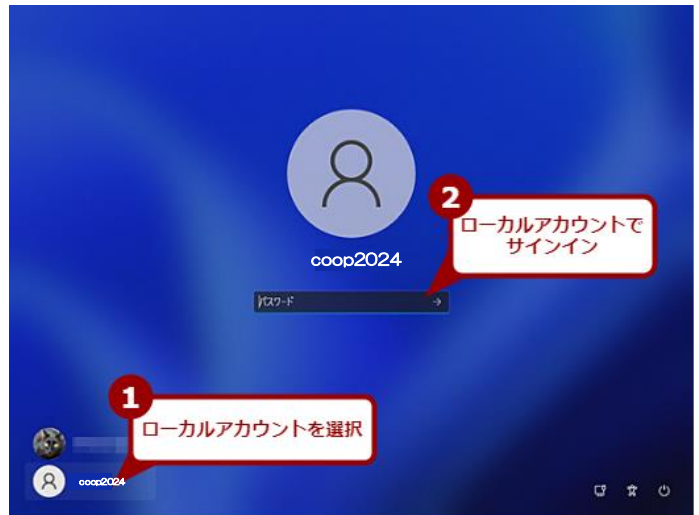


- ⑧ 作成したローカルアカウントが、管理者権限に変更されたことを確認します。



3 作成したローカルアカウントでサインインし直す

- パソコンを再起動します。
- ① Windows 11 が起動し、ログイン画面が表示され、画面左下に表示された丸いアカウントアイコンから、設定したローカルアカウントを選択し、クリック、
- ② 設定したローカルアカウントのパスワードを入力して Windows にログインします。

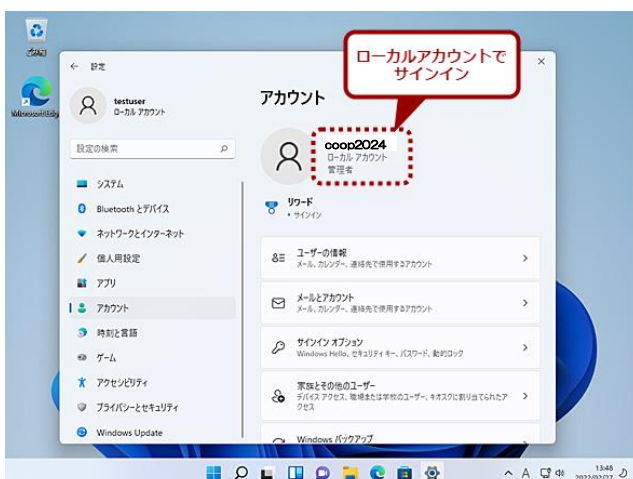


デバイスのプライバシー設定の選択画面が表示されたら、画面をスクロールまたは[次へ]をクリックして内容を確認して下さい。

一番下まで進むと[次へ]が[同意]に変化しますので、[同意]をクリックします。



設定アプリで、アカウントを選択すると、ローカルアカウントに設定されていることが確認できます。




デスクトップ画面が表示されれば、ローカルアカウントでのサインインは完了です。



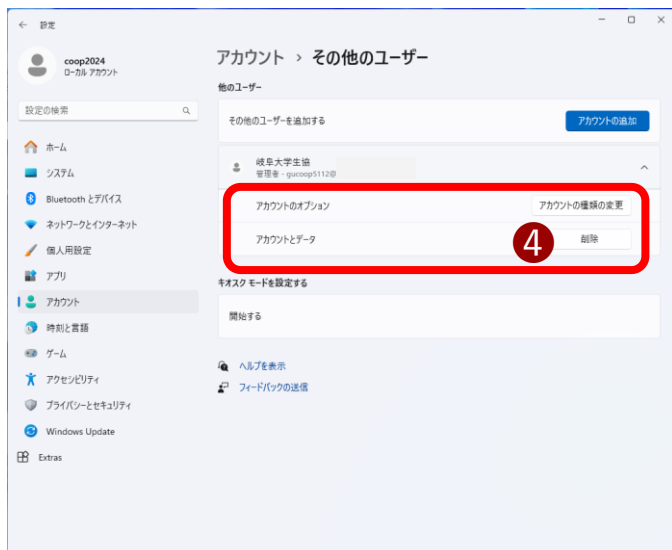
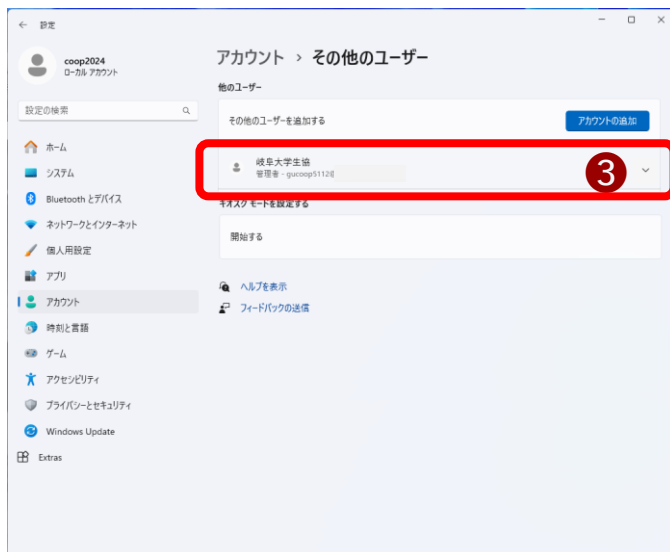
4 Microsoftアカウントを削除する

① 設定アプリを開き、画面の左ペイン（左側メニュー）で「アカウント」を選択、

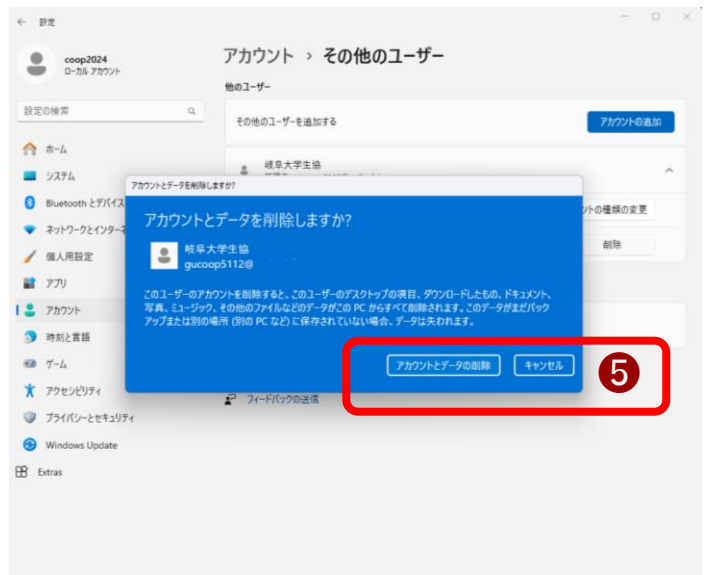
② 開いた画面を少し下へスクロールし、右ペインで「他のユーザー」を選択します。

③ 「その他のユーザー」画面で、削除したい Microsoft アカウント（右例では岐阜大学生協）を選択し、右端にある「」をクリックします

④ 表示されたメニューから、「アカウントとデータ」項目の右にある「削除」ボタンをクリックします。



- ⑤ 表示された [アカウントとデータを削除しますか?] 画面で、 [アカウントとデータの削除] ボタンをクリックします。



- ⑥ Microsoftアカウントが削除されます。

これで、Windows 11上にはローカルアカウントのみが存在する状態となります。



パソコンを再起動してみると、ローカルアカウントでのみサインインする状態になっています。

